

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	健康福祉部福祉課
-------	----------

施設名称	江刺総合コミュニティセンター	施設所在地	奥州市江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	文化活動、社会福祉の研修等を行うことにより、障がい者、高齢者等全ての市民の相互理解と交流の活性化を図り、もってノーマライゼーションの理念の普及高揚に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ホールや会議室の使用等による生涯学習の場となるコミュニティエリアと障がい福祉サービス事業所があるリハビリエリアからなる施設である。	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺総合コミュニティセンター	40,789	40,911	33,138	30,021	90.6	
(計)	40,789	40,911	33,138	30,021	90.6		
[利用者の増減理由] ・平成29年度まで条例で貸し出しの定めのない部屋を一般利用者に貸し出し利用実績としていたが、平成30年度から条例通りの取扱いに改めたため、利用者数が減少した。 ・相談室、静養室が江刺寿生会の専有施設であったことが判明したため、平成30年度から相談室、静養室を利用実績に含めていない。 ・視聴覚室のエアコンが故障したため、夏季及び冬季の利用に影響が出た。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	29,073,000		29,073,000	歳入	使用料	5,280,000	使用料	4,321,600	
	利用料金		197,690	197,690		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		90,383	90,383		その他		その他		
	雑収入			0						
	計	29,073,000	288,073	29,361,073		計(A)	5,280,000	計(A)	4,321,600	
	支出	人件費	6,099,017		6,099,017	※経常的	指定管理料	29,073,000	人件費	
		需用費	15,857,914		15,857,914		委託料		委託料	27,018,140
		役務費	319,497		319,497		需用費		需用費	
		委託料	6,296,869		6,296,869		その他		その他	
		使用料・賃借料	79,056		79,056	計(B)	29,073,000	計(B)	27,018,140	
租税公課		676,400		676,400	支出(B-A)		23,793,000	支出(B-A)	22,696,540	
その他諸費		32,320		32,320	※臨時的	維持修繕費	1,697,760	維持修繕費		
計	29,361,073	0	29,361,073	備品購入費			備品購入費			
損益	△ 288,073	288,073	0	計(C)	1,697,760	計(C)	0			
職員配置		常勤職員 2人		市の正職員 0人		臨時・非常勤職員 0人		市の臨時・非常勤職員 0人		

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	
			0	

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	20.8%	H30年度指定管理者損益	0円	評価
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	968.4円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3

行革効果	[指定管理による行革効果]			[行革効果額] △ 1,096,460円			評価
	市直営時(H17)と比較すると消費税率の変化に伴い需用費や委託料が上がっていることから単純に直営時との比較は難しい。前年度と比較すると効果は得られている。また、施設の老朽化による維持修繕費により、全体的な支出額がその年によって増減する状況に変わりはない。			[行革効果額の積算根拠]			
		H30	H29	比較		3	
	直営支出額	22,696,540	22,696,540	0			
	市支出額	23,793,000	23,999,217	△ 206,217			
効果額	△ 1,096,460	△ 1,302,677	206,217				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・施設の使用許可等に関する業務 ・施設の使用に係る使用料金の徴収に関する業務 ・施設の維持管理に関する業務	○		3
自主事業	・福祉関係団体の活動支援	○	・ヒロノ福祉パーク祭の実施	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	火災警報器の更新や利用者の利便性の確保に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	(財)東北電気保安協会岩手県事業本部に委託。月次点検(需要施設2ヵ月1回)、年次点検、臨時点検。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	江刺厚生会に委託。日常清掃、全館清掃(週1回)、定期清掃(月1回)、特別清掃(年2回)。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節水・節電を積極的に行い、経費の節減に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設所有管理者賠償責任保険(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)に加入。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	江刺総業(株)へ委託。年4回の作業実施。定期的に利用団体へ呼びかけて、草取りボランティアを実施している	○	
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例に従い、利用者に対し使用許可・減免等を適切に行った。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	HP、広報誌に掲載。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	規程様式による内容説明。速やかな受付及び貸出に努めている。条例に定めのない物品は本会の物品を無料で貸し出しするなどし、利用者の利便性向上に努めている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情解決規定により、受け付けた苦情を全て苦情解決責任者及び第3者委員に報告。また、要望意見記入箱を設置し、苦情及び意見に応えられるよう努めている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施 条例改正の要望	ヒロノ福祉パーク祭(ふれあい演芸祭、仮装盆踊り、夢灯り)の実施。福祉団体活動の支援。 和室を一般に貸し出しできるように、条例改正を要望している。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	市への定期報告(月1回)の実施。	○	
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	市個人情報保護条例、奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき対応。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	岩手信号防災(株)に委託。機器点検(年1回)、総合点検(年1回)。	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	ALSOK岩手(株)へ委託。外部からの侵入を漏れなく監視し得るよう機器を設置。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	対応マニュアルを作成し、体制を確保。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを作成。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に従い、年2回避難及び消火訓練を実施。	○	

5 利用者評価

利用者 アンケート	実施の有無	有	評価	
	調査内容	施設利用者に対するアンケートを実施		
	調査結果	回答295件。月ごとに集計し、内容を分析している。		
要望・苦情等	良好とする 評価	<p>【職員の対応について】 大変よい115件 よい106件 普通34件 悪い・大変悪い0件</p> <p>【今後の利用について】 是非利用したい209件 利用したい80件 利用してもよい6件 利用したくない0件</p> <p>【アンケート事由記述内容抜粋】 ・職員の対応が良く気持ち良く利用している。満足。ここに来るのが楽しみ ・いつも丁寧な対応ありがとうございます。 ・利用者への細やかな心づかいを感じた。</p>		
	苦情・改善 要望等	<p>【室温】 悪い11件</p> <p>【照明】 悪い5件</p> <p>【施設付属設備・備品】 悪い4件</p> <p>【アンケート事由記述内容抜粋】 ・コミュニティホールが暑い 6件 ・視聴覚室が寒い 2件 ・照明が暗い 和室1件、会議室1件 ・設備備品の老朽化・故障 4件 ・給湯室水圧が弱い 2件</p>		
			3	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価	
	1 施設の利用状況	3		3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
	2 経費等の状況 (行革効果)	3		
	3 事業の実施状況	3		
	4 業務の実施状況	3		
	①施設の維持管理	3		
	②サービスの向上	3		
	③危機管理対策	3		
5 利用者評価	2			
評価理由	指定管理制度の導入によって、直営時より若干の支出はあるが、適切な施設管理が行われていることから行革の効果が上がっている。			

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	引続き計画的な施設の更新・補修を行うとともに、利用者アンケートの方法を見直す。	屋根補修等計画的に更新・修繕を実施。利用者に対するアンケートを実施し内容を分析している。	引続き計画的な施設の更新・補修を行う。和室を貸出できるよう条例等を改正する。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	健康福祉部子ども・家庭課
-------	--------------

施設名称	奥州市立水沢放課後児童クラブ等	施設所在地	水沢・江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和2年3月31日(3年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し情操を豊かにする。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	奥州市内児童クラブ9箇所 各施設に、遊戯室、集会室、図書室、事務室等を設置している。		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	水沢放課後児童クラブ等(9施設)利用延べ人数		115,266	113,654	112,081	116,596	
							3
(計)		115,266	113,654	112,081	116,596	104.0	
〔利用者の増減理由〕							
登録人数は昨年度とほぼ同じだが、利用人数が微増しており、利用状況は良好である。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	150,175,500		150,175,500	歳入	使用料	0	使用料		
	利用料金	13,434,400		13,434,400		賃貸料	0	賃貸料		
	自主事業	0		0		その他	0	その他		
	雑収入	430,942		430,942		国庫補助	89,434,000	国庫補助	20,110,000	
	計	164,040,842	0	164,040,842		計(A)	89,434,000	計(A)	20,110,000	
	支出	人件費	134,026,296		134,026,296	※経常的 歳出	指定管理料	150,175,500	人件費	
		需用費	5,809,166		5,809,166		委託料	1,739,800	委託料	110,406,000
		役務費	1,688,041		1,688,041		借上料	187,832	需用費	
		委託料	2,254,158		2,254,158		その他		その他	195,832
		使用料・賃借料	1,000,972		1,000,972	計(B)	152,103,132	計(B)	110,601,832	
租税公課		3,000		3,000	支出(B-A)		62,669,132	支出(B-A)	90,491,832	
その他諸費		49,680		49,680	※臨時的 歳出	維持修繕費	1,166,400	維持修繕費		
事務費		2,031,201		2,031,201		備品購入費		備品購入費		
計	146,862,514	0	146,862,514	計(C)		1,166,400	計(C)	0		
損益	17,178,328	0	17,178,328	支出(B+C-A)		63,835,532	支出(B+C-A)	90,491,832		
職員配置	常勤職員		19人		市の正職員			人		
	臨時・非常勤職員		42人		市の臨時・非常勤職員			人		
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額			実収入額						
	13,434,400			13,434,400						

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	91.3%	H30年度 指定管理者損益	17,178,328円	評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 /利用者数	1,288.0円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕		〔行革効果額〕		27,822,700円	評価	
	児童の遊びの指導にあたる放課後児童支援員及び補助員について、指定管理先において自主研修を実施し質の向上をはかるとともに、所長補佐等が毎月定例会を実施し、健全な施設運営を図っている。		〔行革効果額の積算根拠〕			5	
				H30	H29		比較
			直営支出額	90,491,832	90,491,832		0
市支出額			62,669,132	64,122,966	△1,453,834		
		効果額	27,822,700	26,368,866	1,453,834		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理 施設の運営 管理運営のための体制整備 	○		3
自主事業	地域との交流事業（地区センター行事への参加、共催等）の実施や、体力増進、製作、情操教育・文化的活動を通しての健全育成の実現 【事業例】地区まつりへの参加・作品展示 伝承遊び 季節行事 お茶会 運動会 各種スポーツ検定	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に実施されている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施されている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	経費節減に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	スポーツ安全保険及びスポーツ文化法人責任保険に加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施されている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	小学校へのチラシ配布による児童の募集や、利用者の家庭へのチラシの配布、社会福祉協議会のHPを活用した事業内容の周知を実施した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	各児童クラブで申し込みを受けるとともに、社会福祉協議会のHPにおいて申込書がDLできるなど、適切に処理されている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	適切に実施されている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	地区センターや老人施設等と連携した行事や遊びの検定等を行っている	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月10日頃までに、月次報告を提出している。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	所長補佐を個人情報保護管理者として委任し、適切に管理している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	各施設とも年2回実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	実施の有無	有		評価
	利用者アンケート	調査内容	放課後児童クラブに関するアンケート	
		調査結果	概ね満足している	
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の対応が良い ・トラブルに適切に対応している ・児童クラブに安心して預けられている 	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化等、環境を改善してほしい ・開設時間を延長してほしい ・4年生以上も入れるようにしてほしい ・長期休暇は昼食を準備してほしい ・高齢者との交流等、学校でできない体験をさせてほしい 	
				3

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	5	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<p>市内の学区11箇所の児童クラブを同じ指定管理先に委託していることから、危機管理対応マニュアルの作成や避難訓練の実施など、統一した運営方針に基づいた事業執行がなされている。さらに職員の異動があることでよい意味で仕事に対する緊張感を持つことができ、運営のマンネリ化の防止にもなっている。また、独自で実施する各職務別の研修会や県社協主催の研修会への参加、毎月開催する所長補佐会議や各施設ごとに開催する職員会議など、職員の資質向上を図りながら利用児童に適切な活動と居場所の提供に努めている。</p>	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	なし		

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	健康福祉部子ども・家庭課
-------	--------------

施設名称	奥州市立岩谷堂放課後児童クラブ	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	株式会社 ニチイ学館	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	放課後や週末等に児童が安心して生活できる居場所を提供し、次代を担う児童の健全な育成を支援するため。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	遊戯室、調理室、図書室、物置、事務室等を設置している。		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	岩谷堂放課後児童クラブ利用延べ人数		23,978	23,024	23,599	24,322	
							3
	(計)	23,978	23,024	23,599	24,322	103.1	
〔利用者の増減理由〕							
需要に応じて長期休暇のみの利用者を追加したため、利用人数が増加しており、利用状況は良好である。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(23年度)			
収入	指定管理料	25,839,000		25,839,000	歳入	使用料	0	使用料		
	利用料金	7,210,000		7,210,000		賃貸料	0	賃貸料		
	自主事業	0		0		その他	0	その他		
	雑収入	69,868		69,868		国庫補助	15,080,000	国庫補助	7,316,000	
	計	33,118,868	0	33,118,868		計(A)	15,080,000	計(A)	7,316,000	
	支出	人件費	28,231,812		28,231,812	※経常的 歳出	指定管理料	25,839,000	人件費	
		需用費	3,404,416		3,404,416		委託料	327,000	委託料	8,005,000
		役務費	148,080		148,080		需用費		需用費	
		委託料	386,314		386,314		その他		指定管理料	6,731,000
		使用料・賃借料	201,055		201,055	計(B)	26,166,000	計(B)	14,736,000	
租税公課		0		0	支出(B-A)	11,086,000	支出(B-A)	7,420,000		
その他諸費		487,891		487,891	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
事務費		259,300		259,300		備品購入費		備品購入費		
計	33,118,868	0	33,118,868	計(C)		0	計(C)	0		
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	11,086,000	支出(B+C-A)	7,420,000			
職員配置	常勤職員	4人		市の正職員	人					
	臨時・非常勤職員	8人		市の臨時・非常勤職員	人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	7,216,000		7,216,000							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		85.2%	H30年度指定管理者損益	0円			評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		1,062.4円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし			3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 3,666,000円		評価	
	児童の遊びの指導にあたる放課後児童支援員を多数配置することで、すべての児童に行き届いた指導がなされている。さらに、積極的に研修会へ参加するなど、保育の質の向上を図るとともに、定例会議を実施し健全な施設運営を図っている。			〔行革効果額の積算根拠〕						
		H30	H29	比較						
	直営支出額	7,420,000	7,420,000	0		1				
	市支出額	11,086,000	9,661,668	1,424,332						
効果額	△ 3,666,000	△ 2,241,668	△ 1,424,332							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理 施設の運営 管理運営のための体制整備 	○		3
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 児童の自発性を大切にする 児童一人一人のニーズの把握 人との関わりを大切にする 健康な体作りを促進 豊かな想像性をはぐくむ 	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	仕様書に基づき安全管理を行っている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日毎、月毎の点検を実施、記録を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	毎日の清掃、期毎の大清掃を行っている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	指定管理者が負担し、適切・効率的な使用を行っている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	児童全員がスポーツ安全保険に加入。会社としては損害保険ジャパン日本興亜株式会社の総合賠償責任保険に加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理		岩谷堂小学校敷地内であるため学校側で管理。	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施されている	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	当社作成の広報誌、HPに掲載。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用案内や申請書類等を整備し、随時受付を行っている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	当社マニュアルに基づき対応、臨時保護者会等を開催し、再発防止等を公表。ご意見箱(当初箱)の常時設置。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	定期的に自主事業を実施している。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	仕様書に基づき定期報告を行っている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	当社マニュアルに基づき実施している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	消防計画を作成し、日毎、月毎の点検を実施している。	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	夜間及び休館日の警備は、専門業者へ委託している。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	当社マニュアルに基づき、チャートや連絡網等を作成している。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	当社マニュアルに基づき、チャートや連絡網等を作成している。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に基づき、毎月訓練を実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	放課後児童クラブに関するアンケート	
		調査結果	概ね満足している	
	要望・苦情等	良好とする評価	放課後の児童の生活を適切に指導している。 子どもが楽しむ行事を工夫して行っている。	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・開設時間を延ばしてほしい ・長期休暇のみ預かってほしい ・定員を増やしてほしい 	
			3	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	1	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	危機管理対応マニュアルの作成や、避難訓練の実施など、運営方針に基づいた事業執行が適切になされている。また、職員研修会の実施や職場会議を毎月開催するなど、職員の質の向上を図りながら、多くの放課後児童支援員による行き届いた保育と、居場所の提供に努めている。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	なし		

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	健康福祉部子ども・家庭課
-------	--------------

施設名称	奥州市立胆沢笹森放課後児童クラブ	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和2年3月31日(3年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し情操を豊かにする。	指定管理料の有無	有
施設概要	施設に、遊戯室、集会室、図書室、事務室等を設置している。	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	胆沢笹森放課後児童クラブ利用延べ人数			8,257	8,278	100.3	
(計)		0	0	8,257	8,278	100.3	
〔利用者の増減理由〕 登録人数は昨年度とほぼ同じだが、利用人数が微増しており、利用状況は良好である。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(27年度)			
収入	指定管理料	8,794,000		8,794,000	歳入	使用料	0	使用料		
	利用料金	1,050,000		1,050,000		賃貸料	0	賃貸料		
	自主事業			0		その他	0	その他		
	雑収入	40,100		40,100		国庫補助	4,952,000	国庫補助	4,057,000	
	計	9,884,100	0	9,884,100		計(A)	4,952,000	計(A)	4,057,000	
	支出	人件費	9,246,492		9,246,492	※経常的 歳出	指定管理料	8,794,000	人件費	11,972,362
		需用費	550,444		550,444		委託料	169,000	委託料	
		役務費	195,173		195,173		需用費		事業費	804,647
		委託料	332,589		332,589		その他		事務費	64,479
		使用料・賃借料	113,001		113,001	計(B)	8,963,000	計(B)	12,841,488	
租税公課		0		0	支出(B-A)	4,011,000	支出(B-A)	8,784,488		
その他諸費		0		0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
事務費		176,401		176,401		備品購入費		備品購入費		
計	10,614,100	0	10,614,100	計(C)	0	計(C)	0			
損益	△ 730,000	0	△ 730,000	支出(B+C-A)	4,011,000	支出(B+C-A)	8,784,488			
職員配置	常勤職員	2 人		市の正職員		人				
	臨時・非常勤職員	4 人		市の臨時・非常勤職員		人				
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	1,050,000		1,050,000							

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	87.1 %	H30年度指定管理者損益	△ 730,000 円	評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	1,062.3 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	2		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕		〔行革効果額〕		4,773,488 円	評価	
	児童の遊びの指導にあたる放課後児童支援員及び補助員について、指定管理先において自主研修を実施し質の向上をはかるとともに、所長補佐等が毎月定例会を実施し、健全な施設運営を図っている。		〔行革効果額の積算根拠〕			5	
				H30	H29		比較
			直営支出額	8,784,488	8,784,488		0
市支出額			4,011,000	3,990,334	20,666		
効果額	4,773,488	4,794,154	△ 20,666				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・施設の維持管理 ・施設の運営 ・管理運営のための体制整備	○		3
自主事業	地域との交流事業（地区センター行事への参加、共催等）の実施や、体力増進、製作、情操教育・文化的活動を通しての健全育成の実現 【事業例】地区まつりへの参加・作品展示 伝承遊び 季節行事 お茶会 運動会 各種スポーツ検定	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に実施されている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施されている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	経費節減に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	スポーツ安全保険及びスポーツ文化法人責任保険に加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施されている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	小学校へのチラシ配布による児童の募集や、利用者の家庭へのチラシの配布、社会福祉協議会のHPを活用した事業内容の周知を実施した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	各児童クラブで申し込みを受けるとともに、社会福祉協議会のHPにおいて申込書がDLできるなど、適切に処理されている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	適切に実施されている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	地区センターや老人施設等と連携した行事や遊びの検定等を行っている	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月10日頃までに、月次報告を提出している。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	所長補佐を個人情報保護管理者として委任し、適切に管理している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	各施設とも年2回実施している。	○	

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	健康福祉部子ども・家庭課
-------	--------------

施設名称	奥州市立南都田放課後児童クラブ	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和2年3月31日(3年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し情操を豊かにする。	指定管理料の有無	有
施設概要	施設に、遊戯室、集会室、図書室、事務室等を設置している。	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	南都田放課後児童クラブ利用延べ人数			5,389	5,173	96.0	
(計)	0	0	5,389	5,173	96.0		
〔利用者の増減理由〕 登録人数は昨年度とほぼ同じだが、塾や習い事等のため利用人数が減少している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(27年度)			
収入	指定管理料	6,473,000		6,473,000	歳入	使用料	0	使用料		
	利用料金	566,000		566,000		賃貸料	0	賃貸料		
	自主事業			0		その他	0	その他		
	雑収入	20,400		20,400		国庫補助	3,522,000	国庫補助	3,828,000	
	計	7,059,400	0	7,059,400		計(A)	3,522,000	計(A)	3,828,000	
	支出	人件費	8,856,819		8,856,819	※経常的 歳出	指定管理料	6,473,000	人件費	13,873,252
		需用費	436,989		436,989		委託料	24,000	委託料	
		役務費	158,290		158,290		需用費		事業費	681,784
		委託料	253,267		253,267		その他		事務費	23,991
		使用料・賃借料	95,925		95,925	計(B)	6,497,000	計(B)	14,579,027	
租税公課		0		0	支出(B-A)		2,975,000	支出(B-A)	10,751,027	
その他諸費		0		0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
事務費		126,110		126,110		備品購入費		備品購入費		
計	9,927,400	0	9,927,400	計(C)	0	計(C)	0			
損益	△ 2,868,000	0	△ 2,868,000	支出(B+C-A)		2,975,000	支出(B+C-A)	10,751,027		
職員配置	常勤職員			2人	市の正職員			人		
	臨時・非常勤職員			4人	市の臨時・非常勤職員			人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	566,000		566,000							

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	89.2%	H30年度指定管理者損益	△ 2,868,000円	評価	
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	1,251.3円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	2	
行革効果	〔指定管理による行革効果〕		〔行革効果額〕		7,776,027円	評価
			〔行革効果額の積算根拠〕			
			H30	H29	比較	
	児童の遊びの指導にあたる放課後児童支援員及び補助員について、指定管理先において自主研修を実施し質の向上をはかるとともに、所長補佐等が毎月定例会を実施し、健全な施設運営を図っている。		直営支出額	10,751,027	10,751,027	
		市支出額	2,975,000	3,580,334	△ 605,334	
		効果額	7,776,027	7,170,693	605,334	

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・施設の維持管理 ・施設の運営 ・管理運営のための体制整備	○		3
自主事業	地域との交流事業(地区センター行事への参加、共催等)の実施や、体力増進、製作、情操教育・文化的活動を通しての健全育成の実現 【事業例】地区まつりへの参加・作品展示 伝承遊び 季節行事 お茶会 運動家 各種スポーツ検定	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に実施されている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施されている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	経費節減に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	スポーツ安全保険及びスポーツ文化法人責任保険に加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施されている。	○	
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	小学校へのチラシ配布による児童の募集や、利用者の家庭へのチラシの配布、社会福祉協議会のHPを活用した事業内容の周知を実施した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	各児童クラブで申し込みを受けるとともに、社会福祉協議会のHPにおいて申込書がDLできるなど、適切に処理されている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	適切に実施されている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	地区センターや老人施設等と連携した行事や遊びの検定等を行っている	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月10日頃までに、月次報告を提出している。	○	
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	所長補佐を個人情報保護管理者として委任し、適切に管理している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	各施設とも年2回実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	実施の有無	有		評価
	利用者アンケート	調査内容	放課後児童クラブに関するアンケート	
		調査結果	概ね満足している	
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の対応が良い ・児童クラブに安心して預けられている 	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・開設時間を延ばしてほしい ・狭いため体を動かせる時間、場所がほしい ・4年生以上も入れるようにしてほしい 	
				3

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2		
2 経費等の状況 (行革効果)	5		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	市内の学区11箇所の児童クラブを同じ指定管理先に委託していることから、危機管理対応マニュアルの作成や避難訓練の実施など、統一した運営方針に基づいた事業執行がなされている。さらに職員の異動があることでよい意味で仕事に対する緊張感を持つことができ、運営のマンネリ化の防止にもなっている。また、独自で実施する各職務別の研修会や県社協主催の研修会への参加、毎月開催する所長補佐会議や各施設ごとに開催する職員会議など、職員の資質向上を図りながら利用児童に適切な活動と居場所の提供に努めている。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	なし		

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	健康福祉部子ども・家庭課
-------	--------------

施設名称	奥州市立前沢放課後児童クラブ、奥州市立古城放課後児童クラブ	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	社会福祉法人 奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和2年3月31日(5年間)	新規・継続の別	新規
施設設置目的	児童福祉法に規定されている放課後児童育成健全事業を実施し、児童の健全な育成を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	児童クラブ室、アリーナ、休養室、事務室等を設置している。	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	前沢、古城放課後児童クラブ利用延べ人数		24,021	26,669	25,389	23,944	
							3
	(計)	24,021	26,669	25,389	23,944	94.3	
〔利用者の増減理由〕							
登録人数は昨年度とほぼ同じだが、塾や習い事等のため利用人数が減少している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(26年度)			
収入	指定管理料	21,383,000		21,383,000	歳入	使用料	0	使用料		
	利用料金	2,952,900		2,952,900		賃貸料	0	賃貸料		
	自主事業			0		その他	0	その他		
	雑収入	91,200		91,200		国庫補助	11,512,000	国庫補助	11,062,000	
	計	24,427,100	0	24,427,100		計(A)	11,512,000	計(A)	11,062,000	
	支出	人件費	19,233,982		19,233,982	※経常的 歳出	指定管理料	21,383,000	人件費	
		需用費	1,865,382		1,865,382		委託料	356,000	委託料	16,593,500
		役務費	322,854		322,854		需用費		負担金他	
		委託料	412,943		412,943		その他		その他	916,704
		使用料・賃借料	370,660		370,660		計(B)	21,739,000	計(B)	17,510,204
租税公課		0		0	支出(B-A)	10,227,000	支出(B-A)	6,448,204		
その他諸費		0		0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
事務費		406,901		406,901		備品購入費		備品購入費		
計	22,612,722	0	22,612,722	計(C)		0	計(C)	0		
損益	1,814,378	0	1,814,378	支出(B+C-A)	10,227,000	支出(B+C-A)	6,448,204			
職員配置	常勤職員	4人		市の正職員	人					
	臨時・非常勤職員	9人		市の臨時・非常勤職員	人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	2,952,900		2,952,900							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		85.1%	H30年度指定管理者損益	1,814,378円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		893.0円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 3,778,796円	評価		
	児童の遊びの指導にあたる放課後児童支援員及び補助員について、指定管理先において自主研修を実施し質の向上をはかるとともに、所長補佐等が毎月定例会を実施し、健全な施設運営を図っている。			〔行革効果額の積算根拠〕				1		
					H30	H29	比較			
				直営支出額	6,448,204	6,448,204	0			
				市支出額	10,227,000	10,016,000	211,000			
効果額	△ 3,778,796	△ 3,567,796	△ 211,000							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・施設の維持管理 ・施設の運営 ・管理運営のための体制整備	○		3
自主事業	地域との交流事業（地区センター行事への参加、共催等）の実施や、体力増進、製作、情操教育・文化的活動を通しての健全育成の実現 【事業例】地区まつりへの参加・作品展示 伝承遊び 季節行事 お茶会 運動会 各種スポーツ検定	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切に実施されている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施されている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	経費節減に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	スポーツ安全保険及びスポーツ文化法人責任保険に加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施されている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	小学校へのチラシ配布による児童の募集や、利用者の家庭へのチラシの配布、社会福祉協議会のHPを活用した事業内容の周知を実施した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	各児童クラブで申し込みを受けるとともに、社会福祉協議会のHPにおいて申込書がDLできるなど、適切に処理されている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	適切に実施されている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	地区センターや老人施設等と連携した行事や遊びの検定等を行っている	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月10日頃までに、月次報告を提出している。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	所長補佐を個人情報保護管理者として委任し、適切に管理している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	専門業者へ委託し、適切に実施されている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	各施設とも年2回実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	放課後児童クラブに関するアンケート	
		調査結果	概ね満足している	
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の対応が良い ・ 褒めたり、注意したり細やかな声かけがある 	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の老朽化等、環境を改善してほしい ・ 小学校に隣接した施設にしてほしい ・ 開設時間を延ばしてほしい ・ 4年生以上も入れるようにしてほしい 	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	3
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	1		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	<p>市内の学区11箇所の児童クラブを同じ指定管理先に委託していることから、危機管理対応マニュアルの作成や避難訓練の実施など、統一した運営方針に基づいた事業執行がなされている。さらに職員の異動があることでよい意味で仕事に対する緊張感を持つことができ、運営のマンネリ化の防止にもなっている。また、独自で実施する各職務別の研修会や県社協主催の研修会への参加、毎月開催する所長補佐会議や各施設ごとに開催する職員会議など、職員の資質向上を図りながら利用児童に適切な活動と居場所の提供に努めている。</p>		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	なし		

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	長寿社会課
-------	-------

施設名称	水沢高齢者創作館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	奥州市老人クラブ連合会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者の生きがいと創造意欲の高揚	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料のみ
施設概要	木工部、陶芸部、手芸部、園芸部、わら細工部		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	水沢高齢者創作館		2,537	2,484	2,467	2,472	
							3
	(計)	2,537	2,484	2,467	2,472	100.2	
〔利用者の増減理由〕							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	2,863,000		2,863,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	2		2						
	計	2,863,002	0	2,863,002		計(A)	0	計(A)	0	
支出	人件費	1,080,000	0	1,080,000	歳出 ※経常的	指定管理料	2,863,000	人件費		
	需用費	486,977	0	486,977		委託料		委託料		
	役務費	12,760	0	12,760		需用費		需用費		
	委託料	0	0	0		その他		負担金	2,995,000	
	使用料・賃借料	17,700	0	17,700		計(B)	2,863,000	計(B)	2,995,000	
	租税公課		0	0		支出(B-A)	2,863,000	支出(B-A)	2,995,000	
	その他諸費	63,565	0	63,565		歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費	
	報償費	1,202,000	0	1,202,000			備品購入費		備品購入費	
計	2,863,002	0	2,863,002	計(C)	0		計(C)	0		
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	2,863,000	支出(B+C-A)	2,995,000			

職員配置	常勤職員	0人	市の正職員	0人
	臨時・非常勤職員	1人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	0	0	0

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出	37.7%	H30年度指定管理者損益	0円	評価
-----------	----------------------	-------	--------------	----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数	1,158.2円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	--------------	----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 132,000円			評価	
	指定管理制度導入を導入することで、人件費の削減に伴う経費面での効果が現れている。 また、相互交流や作品作りによって高齢者の生きがい対策の充実が図られている。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			H30	H29		比較
		直営支出額	2,995,000	2,995,000		0
		市支出額	2,863,000	2,863,000		0
効果額	132,000	132,000	0			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	高齢者の生きがいと健康づくり事業の実施	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕を行い、維持管理及び経費削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者（電気・ガス等）による定期的な保守点検が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	清掃分担に従い、部員が自主的に責任感を持ち清掃がなされている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	電気料金等諸経費が値上がり状況にあるので省エネに部員一同で取り組んでいる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	市が建物共済保険を付保する。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	施設の窓際に花壇を作り美化に努めている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	水沢高齢者創作館条例に則り、適切に対応している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市老人クラブ連合会の会報や地元新聞社を活用して館の宣伝に努めている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	パンフレットの作成やイベントへの参加によって利用促進にあたっている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	会員との交流を図り、会員の意思を尊重して対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	イベント参加や事業を行うことによって会員増加を図っている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	活動報告書の記載によって定期報告を行っている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な保護に努めている。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	定期点検が実施されている。（電気・ガス機器等）	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	木工機械の定期補修時に併せて機具安全使用の講習（業者に依頼）を実施して安全確保に努めている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	連絡網を作成し、関係機関への連絡、対応が適切に行われるように努めている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、避難について確認をしている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	11月に避難訓練を実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	1 会員経過年数について 2 活動の成就感について 3 施設への要望について 4 改善点について	
	調査結果	1 会員経過年数（平均） 6年 2 「作品作りに取り組んでいる時間が充実している。」が半数以上で、「会員との話し合いが楽しい」も多い。結果として概ね良好と把握できる。		
	要望・苦情等	1 多くの会員は入会年数が長く、施設は生きがいつくりの場として活用されている。 一方、高齢のために退部する会員が見られるようになっているが、最近、若い会員が加入するようになり、世代交代が顕著になってきた。 2 会員は、より豊かな作品作りを励んでいる。		
	苦情・改善要望等	1 移転した園芸ハウスの整地が必要と要望されている。特に、冬期間はぬかるんだ地面がそのまま凍結することで入口のドアが持ち上げられ、開閉しづらくなる。		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の閉じこもりを防ぎ、生きがいつくりと創作意欲の高揚に貢献している。積極的な行事参加や活動が新聞で紹介されるなど、高齢者が地域から評価される機会にもなっている。 ・アンケートを実施し、利用者の意見、要望を取り入れながら運営にあたっており、指定管理者として適切な事業管理にあっている。 ・安全講習会の実施、避難訓練の実施、緊急時連絡網の作成など、事故等に対する防止及び発生時の対応に備えて運営を行っている。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	会員の高齢化と減少が続いているため、会員加入を促進する。	各種イベントに参加しながら活動の周知を行った。	様々な機会を活用し、活動参加の促しを継続していく。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	江刺総合支所健康福祉グループ
-------	----------------

施設名称	江刺高齢者生産活動センター	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	社会福祉法人奥州市社会福祉協議会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者の経験や技術を活かした就業機会の増大を図り、その生きがいを高めるため、高齢者の生産活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する。	指定管理料の有無	有
施設概要	ロビー(展示室)、竹加工室、木工室、食品加工室、陶器室、休憩室、事務室等	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺高齢者生産活動センター		1,624	1,400	1,358	1,233	
							3
	(計)	1,624	1,400	1,358	1,233	90.8	
〔利用者の増減理由〕							
・部員の高齢化に伴い、利用者が減少している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	5,768,000		5,768,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入			0						
	計	5,768,000	0	5,768,000		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	4,312,732		4,312,732	※経常的 歳出	指定管理料	5,768,000	人件費	
		需用費	561,369		561,369		委託料		委託料	6,150,900
		役務費	119,003		119,003		需用費		需用費	
		委託料	445,717		445,717		その他		その他	
		使用料・賃借料	47,952		47,952	計(B)	5,768,000	計(B)	6,150,900	
租税公課		281,227		281,227	支出(B-A)	5,768,000	支出(B-A)	6,150,900		
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
計		5,768,000	0	5,768,000		備品購入費		備品購入費		
損益	0	0	0	計(C)	0	計(C)	0			
職員配置	常勤職員		人	市の正職員		人				
	臨時・非常勤職員		3人	市の臨時・非常勤職員		人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
			0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		74.8%	H30年度 指定管理者損益		0円	評価			
利用者一人当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		4,678.0円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			382,900円	評価		
	本制度の導入により、円滑に事業運営及び施設管理が図られた。 あわせて、人件費や管理費用等の運営経費の圧縮が図られた。			〔行革効果額の積算根拠〕				3		
					H30	H29	比較			
				直営支出額	6,150,900	6,150,900	0			
市支出額				5,768,000	5,768,000	0				
	効果額	382,900	382,900	0						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・竹細工、木工、陶芸、食品加工等の生産活動事業 ・管理施設等の維持管理に関する業務	○		3
自主事業	・小学生や一般向けの陶芸教室 ・文化祭での作品展示、施設開放	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	利用前に点検を実施している。定期点検は実施せず、異常がある際に業者へ依頼。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	利用前に点検を実施している。定期点検は実施せず、異常がある際に業者へ依頼。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	活動日に清掃業者に委託して実施。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・省エネルギーに努め、適正な使用と認められた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	利用者及び職員の怪我や事故対応のため加入。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	職員が定期的実施。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公平性は確保されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	毎月「社協だより」にて活動状況等を周知。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口申請の他、問い合わせ等に対しても随時適正に対応している。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情処理マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出していない。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	高齢者以外にも小学生や一般向け陶芸教室の開催等、自主事業を企画・実施している。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月利用状況について報告している。年度終了時に、年度分の報告をしている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	奥州市社会福祉協議会個人情報保護規定に基づき適正に実施している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	業者による定期点検を実施。消防計画を策定し、火災予防を含め対応している。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	職員が施錠管理している。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故発生時の対応マニュアルを策定し、事故発生時の対応に備えている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	災害対応マニュアルを策定し、災害時の対応に備えている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	消防計画に基づき実施。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	3
		調査内容	アンケートは実施していないが、申出や要望等について随時受けられる体制を取っている。 要望等があった場合は内容を検討し、運営や事業に反映させている。	
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	苦情処理マニュアルにて対応することとしているが、苦情は出ていない。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	3
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	3		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の導入により、人件費や物件費が抑制され行革の効果を着実に上げており、大いに評価できる。 ・施設の特性を生かした自主事業の取り組みは、「高齢者の経験や技術を生かした就業機会の増大を図り、生きがいを高めるため、高齢者の生産活動を総合的、機能的に推進し、山村地域の振興に資する。」という施設の設置目的に貢献している。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	なし		利用者の拡大

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	前沢総合支所市民福祉グループ
-------	----------------

施設名称	まえさわ介護センター	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	社会福祉法人つつじ会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	新規・継続の別	継続
施設設置目的	居宅における介護を支援する。(訪問介護事業・通所介護事業・短期入所生活介護事業・介護支援相談事業・訪問給食事業)	指定管理料の有無	有
施設概要	デイサービスセンター、ヘルパーステーション、在宅介護支援センター、厨房、ショートステイ居室(30床)など	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	まえさわ介護センター通所介護事業	7,787	7,606	7,296	6,914	94.8	
まえさわ介護センター短期入所生活介護事業	8,457	8,383	8,151	8,067	99.0		
(計)	16,244	15,989	15,447	14,981	97.0		
[利用者の増減理由] 通所介護事業に関しては施設入所や永眠される利用者が相次いだ。短期入所生活介護事業に関しては利用予定になっていても施設入所や入院等でキャンセルになることが多かったため減少となった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	H30年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(25年度)		
	収入	指定管理料	7,000,000		7,000,000	使用料	0	使用料	0
	利用料金	169,838,128	1,930,600	171,768,728	賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0		0	歳入	その他	14,406,264	その他	20,900
	雑収入	407,822		407,822			事業収入	169,246,258	
	計	177,245,950	1,930,600	179,176,550		計(A)	14,406,264	計(A)	169,267,158
支出	人件費	128,409,227	1,475,854	129,885,081	※経常的	指定管理料	7,000,000	人件費	134,271,603
	需用費	23,116,194	195,851	23,312,045		委託料	2,264,702	委託料	24,731,192
	役務費	1,377,290	39,478	1,416,768		需用費	11,100,458	需用費	19,448,097
	委託料	29,783,227	2,762,987	32,546,214		その他	1,119,951	その他	6,574,810
	使用料・賃借料	5,549,134	579,792	6,128,926		計(B)	21,485,111	計(B)	185,025,702
	租税公課	0	0	0	支出(B-A)	7,078,847	支出(B-A)	15,758,544	
	その他諸費	1,329,852	111,850	1,441,702	※臨時的	維持修繕費	219,780	維持修繕費	0
	計	189,564,924	5,165,812	194,730,736		備品購入費	7,187,508	備品購入費	1,001,070
計	189,564,924	5,165,812	194,730,736	計(C)	7,407,288	計(C)	1,001,070		
損益	△ 12,318,974	△ 3,235,212	△ 15,554,186	支出(B+C-A)	14,486,135	支出(B+C-A)	16,759,614		

職員配置	常勤職員	16人	市の正職員	4人
	臨時・非常勤職員	29人	市の臨時・非常勤職員	48人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	171,768,728	0	171,768,728

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	67.7%	H30年度指定管理者損益	△ 15,554,186円	評価
-----------	--------------------	-------	--------------	---------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	467.3円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	2
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	[指定管理による行革効果]		[行革効果額]		8,679,697円	評価	
	指定管理者損益赤字については、施設運営唯一の財源である介護報酬がマイナス2.27%に改定されたことによるものと利用者数減少が原因である。施設の老朽化に伴う施設修繕や備品の更新等により市の支出は増えているが、20年が経過した施設であることから今後も修繕等の経費はかさむものと予想される。		[行革効果額の積算根拠]				
			H30	H29	比較	3	
			直営支出額	15,758,544	15,758,544		0
			市支出額	7,078,847	8,039,202		△ 960,355
		効果額	8,679,697	7,719,342	960,355		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設を適正かつ円滑に管理すること。指定管理者が有する能力を活用しつつ、地域住民等に対する福祉サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進を図ること。	○		3
自主事業	配食見守りサービス	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	委託業者などにより適切に保守・点検が行われている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	委託業者などにより適切に保守・点検が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	法人職員で作業実施している。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	間引き照明やこまめな消灯等により適切な環境配慮が行われている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	介護保険・社会福祉事業者総合保険への加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	敷地内に市の管理施設もあることから連携しながら適切に管理している。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	公正中立なケアマネジメントの確保に関する説明を行っていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報誌を定期的に発行し、家族・関係機関へ配布していることを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	各部署の責任者を中心に適切な対応がされていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	各部署から所長へ速やかに報告され、迅速な対応がなされている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	秋まつりや利用者の作品展を通じて家族や地域住民との交流が図っている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	協定書に基づき適切に報告を受けた。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	基本協定書第17条及び独自の基本規定等に基づき適正に実施されている。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	委託業者などにより適切に保守・点検が行われている。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	休日及び夜間についても日直当直により安全が確保されている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	初期対応や家族への連絡が適切に行われており、事故報告書やヒヤリハット報告書を提出させ再発防止に努めている。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	防災計画書及び緊急連絡網が整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	消防の指導の下、夜間に避難訓練が行われた。	○	

5 利用者評価

	実施の有無	有		評価
		利用者アンケート	調査内容	
利用者評価		調査結果	利用者の要望をできるだけ取り入れた支援に対し、概ね満足とする評価だった。	
	要望・苦情等	良好とする評価	特に通所サービス利用者から年間を通じて様々なイベントがあり、施設利用が楽しいとの声が寄せられた。	
		苦情・改善要望等	喫煙について通所サービス利用者より要望があったが、敷地内が禁煙であることを再度説明しご理解をいただいた。	
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	介護報酬のマイナス改定や利用者の減少により損失傾向にある。また、施設の経年劣化により修繕を必要とする箇所も増え、施設運営が困難となっているが、稼働率を上げる対策として各部署でサービス改善のための取り組みを行うなど、利用者の満足度向上を目指し努力している。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	施設の老朽化に伴う適切な施設管理。サービスの質の向上。新規利用者への働きかけ。	ナースコールと離床センサーを併用し見守り強化と危険回避に努めた。	施設の老朽化に伴う適切な施設管理、サービスの質のさらなる向上を図り、新規利用者への働きかけを行う。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	胆沢総合支所健康福祉グループ
-------	----------------

施設名称	胆沢高齢者総合福祉施設ぬくもりの家	施設所在地	胆沢 地域
指定管理者名	社会福祉法人胆沢やまゆり会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	高齢者福祉サービスを提供する	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	
施設概要	特養ホーム50床、短期入所施設10床、ディサービスセンター40人、認知型高齢者グループホーム9床		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	ぬくもりの家 特養、グループホーム	59	59	59	59	100.0	
	ぬくもりの家 短期入所	3,914	3,770	3,794	3,701	97.5	
	(計)	3,973	3,829	3,853	3,760	97.6	
〔利用者の増減理由〕							
空きベッド状況を各居宅介護事業所へ情報提供し、空きベッド活用に努めましたが、利用頻度の高かった利用者が施設入所したことにより空きベッドの調整が厳しく、延べ人数で93人減少した。なお、新規利用者が36人あった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0	0	0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	550,089,896	0	550,089,896		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	0	0	0		その他		その他		
	雑収入	4,589,251	0	4,589,251						
	計	554,679,147	0	554,679,147		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	336,384,825	0	336,384,825	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	
		需用費	70,520,343	0	70,520,343		委託料		委託料	
		役務費	2,969,652	0	2,969,652		需用費		需用費	
		委託料	31,721,693	0	31,721,693		その他		その他	
		賃借料	5,311,411	0	5,311,411		計(B)	0	計(B)	0
施設整備費		3,555,715	0	3,555,715	支出(B-A)		0	支出(B-A)	0	
その他諸費		17,762,005	0	17,762,005	歳出 ※臨時的	維持修繕費	18,154,800	維持修繕費		
						備品購入費		備品購入費		
計		468,225,644	0	468,225,644		計(C)	18,154,800	計(C)	0	
損益	86,453,503	0	86,453,503	支出(B+C-A)		18,154,800	支出(B+C-A)	0		
職員配置	常勤職員	64 人		市の正職員		0 人				
	臨時・非常勤職員	56 人		市の臨時・非常勤職員		0 人				

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	550,089,896	0	550,089,896

指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	71.8 %	H30年度 指定管理者損益	86,453,503 円	評価
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数	0.0 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕			0 円	評価
	当初から公設民営化の手法をとっており、指定管理以降、行政には負担が生じていない。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			H30	H29	比較	
		直営支出額	0	0	0	
		市支出額	0	0	0	
効果額	0	0	0	3		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	高齢者総合福祉施設の運営	○		3
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と施設利用者のふれあい交流の場を目指す健康フェスティバルと連携したイベントの開催 ・地域に密着した独自のふれあい交流事業 里孫交流活動、七夕まつり 	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。		3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守、点検が行われていた。		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により、的確に行われていたことを確認した。		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	デマンド装置を設置し使用電力の節減に努めていることを確認した。		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	介護保険・社会福祉事業者総合保険への加入を確認した。		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	専門業者による樹木等の管理が行われていた。		
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	報告書により、利用者の公平性の確保が図られていることを確認した。		3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報を活用して周知を図ったことを確認した。		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルは無く、正確で的確な対応を確認した。		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情や問い合わせに対し、迅速な対応がとられていることを確認した。		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	七夕まつりや里孫交流活動等地域交流活動に積極的取り組んでいる。		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	協定書に従い報告を受けている。		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報に関する基本指針に法り、適切に実施していることを確認した。		3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により、利用者の安全を確保していることを確認した。		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を2回実施したことを確認した。		

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	利用者とその家族に対するアンケート（回答率：283/602人、47.0%）	
		調査結果	ほとんどの質問で過半数以上が「満足」していると回答	
	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してお願いすることができ、また安心して仕事できていますので心から感謝しております。 ・職員の方々の言葉づかい、接し方に満足しています。利用者の目線で何事も介護されており、いつも感謝しています。 ・良い表情で帰ってくるのが何よりの証拠だと思います。いつもありがとうございます。 	3	
	要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> ・時々ですがお尻のほう汚れている時があります。 ・ディサービスの内容がわからない。 ・要望に対してすぐ対応してくれるが、継続しない。職員同士で情報を共有されているのか？何度も同じことをノートに書いてお願いしないとやってもらえない場合があって面倒。 ・衣類のボタン付け、縫物、本人が気づかない衣類の汗臭を告げ、洗濯を促してほしい。 		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	3		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	指定管理者として適切な事業運営に当たっているものと評価する。 利用者とその家族からの職員や施設に対する信頼は、アンケートの共通事項の職員の接遇や施設の雰囲気に対する質問で過半数が「満足」と評価している。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	なし		特になし

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	衣川総合支所市民福祉グループ
-------	----------------

施設名称	瀬原交流館	施設所在地	衣川地域
指定管理者名	瀬原交流館運営委員会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	独居の高齢者に対し、宅老事業を実施することにより社会的孤立感の解消を図るとともに、児童生徒との世代を越えた交流を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	利用料金のみ
施設概要	多目的ホール・小ホール・調理室・図書室ほか		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	瀬原交流館		1,357	1,250	1,093	1,109	
							3
	(計)	1,357	1,250	1,093	1,109	101.5	
〔利用者の増減理由〕							
主に瀬原行政区の集会場として利用されているが、行政区内の人口減少(H18/335人→H31/287人)もあり、1回(団体)あたりの利用人数が減少傾向にある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料			0	歳入	使用料	0	使用料		
	利用料金	6,000		6,000		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	197,042		197,042						
	計	203,042	0	203,042		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	
		需用費	203,042		203,042		委託料		委託料	180,000
		役務費			0		需用費		需用費	
		委託料			0		その他		その他	
		使用料・賃借料			0	計(B)	0	計(B)	180,000	
租税公課				0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	180,000		
その他諸費				0	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
						備品購入費		備品購入費		
計	203,042	0	203,042	計(C)		0	計(C)	0		
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	180,000			

職員配置	常勤職員	0人	市の正職員	0人
	臨時・非常勤職員	0人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	85,500	79,500	6,000

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	0.0%	H30年度指定管理者損益	0円	評価
-----------	--------------------	------	--------------	----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	---	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 180,000円			評価
	指定管理導入前は管理委託(委託料180,000円/年)としていたが、指定管理導入により現在は指定管理料無しの取り扱いとし、経費面での効果があった。	〔行革効果額の積算根拠〕			
			H30	H29	比較
		直営支出額	180,000	180,000	0
市支出額	0	0	0		
効果額	180,000	180,000	0		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の閉館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務（高齢者等への宅老事業の実施）	○		3
自主事業	地域住民活動事業、教育活動、農業活動、世代間交流事業	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適宜点検がなされ、修繕箇所発見時には市へ報告が行われていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	該当なし		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	使用後の掃除に加え、年3回(5月、9月、12月)の全館清掃が行われていた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	該当なし		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適宜、環境整備がなされていた。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に執行されていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	行事にあわせて事前にチラシの回覧や防災無線等により周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブル等はなく、適切な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったが、対応手順等を確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	施設設置目的に適した地域活動を実施している。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護法に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	消火器の設置のみ(任意)		
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	安全確保を心がけることを周知している。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関連機関への連絡、対応マニュアルを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練の実施を確認した。(平成30年6月24日実施)	○	

